

# Change! 2022 『アクションプランⅡ』

## Change! 2022 推進委員会

『2022 年をゴールとする中期会員増強運動』がスタートして 3 年目に入りました。昨年、『Change! 2022』に名称変更してから 2 年目になります。目標会員数は、東日本区がスタートした 1997 年の会員数 1,246 名です。一昨年、EMC アンケートを実施し、各クラブに 2022 年のゴール時の目標会員数を提出していただきました。昨年、『アクションプランⅠ』を作成し、各クラブに会員増強をお願いしてきましたが、残念ながら新型コロナ禍の影響が大きく、多数の退会者があり、前年度よりマイナス 19 名の 830 名での今期スタートです。

新型コロナ禍の中で、例会はもとよりワイズ活動そのものが難しい状況ではありますが、知恵を絞り、出来ることを皆様と共にやっていきたいと存じます。今年の 2 月に開催された「Change! 2022 シンポジウム」での皆様のご意見等を参考とし、『アクションプランⅡ』を作成いたしました。

Change! 2022 の名称のように、変えるべきことは勇気をもって変革し、知恵を出し合い、現状を打開して会員増強に新たな取り組みをしていきたいと存じます。

## ワイズの抱える課題

- ・会員の減少、会員の高齢化、知名度の低さ、金銭負担
- ・新型コロナ禍における新生活様式でのワイズ活動

## Change! 2022 『アクションプランⅡ』の提唱

### 1. コロナ禍における会員増強と新クラブ設立について

次の 3 つの方法で目標「830 名→1,246 名」を達成しましょう。

#### (1) 各クラブによる会員増強

2019 年 7 月に各クラブから出していただいた純増目標数合計は 280 名  
(第 1 回シンポジウム報告集 5 ページに掲載)

#### (2) 部内での新クラブ設立による増員数 3 年間で 13 クラブ設立 予想人数 90~120 名 (北海道部 1 クラブ、他の部は各 2 クラブ)

現在、新クラブ設立に際して、東日本区 YES (Y's Extension Support) より 10 万円の支援金が贈呈されますが、これとは別に、Change! 2022 推進委員会では新クラブ設立の助成金制度(スポンサークラブに 5 万円、新クラブに 5 万円)を設け、新クラブ設立を支援します。

#### (3) 会員個人によるアニバサリープレゼント(詳細は別紙) 予想人数 50~60 名

2020 年から 2022 年の間に周年記念を迎えるクラブへの会員候補者(知人・友人)の紹介

## 《会員増強のための参考事項》

- ・YMCA リーダーOB/OG が卒業後も YMCA、ワイズと関係が続くような関係を作る。
- ・会員勧誘のためのリーフレット、パンフレットの充実化。
- ・若者を引き付ける奉仕・社交・研鑽・居場所・ステータス・ビジネスなどを満たせるクラブ。
- ・地域奉仕を共に協働している個人、グループと新クラブ設立の可能性を模索。
- ・IT 時代になり広域クラブのような新しいクラブ像もあり。

## 2. コロナ禍における「新しいワイズ様式」の模索、クラブ例会等について

(1) ライブとリモートのハイブリット型を基本とする例会。ワイズに関心のある候補者がリモートで参加することも期待される。

(2) 新クラブ設立のための部における Zoom エクステンション委員会の開催

コロナ禍の中でも Zoom による委員会は今まで以上に開くことは可能（時間・費用）。各部における新クラブ設立のためのエクステンション Zoom 委員会の開催を提唱します（2 ヶ月に 1 回程度）。参加者は、部長、会員増強事業主査、エクステンション委員長、クラブ会長、Change! 2022 推進委員会委員およびオブザーバー。

## 3. 地域奉仕、YMCA サービスの在り方について

- ・地域で活動している他の奉仕団体との協働。
- ・外向きに広報することによる非会員を巻き込んだ事業の展開（FB、QR コード等の活用）。
- ・地域の社会福祉協議会に参加し、地域との関係を密にする。
- ・YMCA とのより強いパートナーシップの構築（共有するための連絡会の開催）。

## 4. 外向きの広報について

- ・現在、クラブ Facebook は約 30 クラブでスタートしていますが、活用状況が芳しくありません。これは、FB に不慣れなれ等の理由があります。
- ・そこで、まずは個人の FB の情報発信者を増やし、クラブ FB と共に活発に活用する。
- ・その為に、FB のマニュアル（映像）を作ります。
- ・また、ブリテンやホームページも外向きの広報を意識し、ワイズ用語の多様を避け、QR コードを活用しアクセスを容易にする。
- ・FB や Zoom を活用し、ワイズの間口を広くし賛同者を増やす。

## 5. 各種会合におけるキリスト教の儀式について

- ・クラブ例会のプログラムは各クラブで決める。
- ・クラブ外の公式な集まりにおけるプログラムについては、主催者とホストが協議して決める。（長野東日本区大会の例もあり）
- ・ブリテンの形式についても同様とする。

## 6. 法人化について

知名度、社会的信用度の向上のため法人化を進める。行政の補助金、助成金を受けられる。

## 7. 国際協会 Challenge 22 100日キャンペーンより（9月1日～12月9日）

(1) 現クラブ会員の配偶者が入会した場合：国際会費は半額

（15人以下のクラブでも対象）

(2) 26歳～35歳のヤングメンバーが入会した場合：国際会費は半額

何れも、2022-2023年度の前期分まで

## 主な取り組み

★Change! 2022 ニュース 毎月発行。現在、第15号（2020年9月号）まで発行。

★新クラブ設立の支援 国際協会申請書類のひな型作成および申請のお手伝い。

各部の新クラブ設立委員会への協力・支援。

★Change! 2022 シンポジウムⅡの開催模索（新型コロナウイルスの動向をみて）

## Change! 2022 目標会員数（予測）

849名----->1,246名

	2019.7	2020.1	2020.7	2021.1	2021.7	2022.1	2022.7	2022.12
会員数	849名	875名	830名	915名	1,000名	1,085名	1,170名	1,246名
新クラブ数			2クラブ	2クラブ	2クラブ	2クラブ	3クラブ	2クラブ